

【TKS 4×1 型輪転機 琉球新報社様に納入決定】

私ども東京機械製作所は、この度、琉球新報社様より、「カラートップ・エコワイドⅡ」オフセット輪転機を1セット受注いたしました。

現在、琉球新報社様に於かれましては、那覇市にある琉球新報制作センター様にて弊社製の4×2型輪転機2セット体制のもと、琉球新報本紙の他、新報スポニチ、日本経済新聞、日本農業新聞などの受託印刷も行われています。

今回のご導入により、既設2セットのうち1セットが「カラートップ・エコワイドⅡ」に更新されることとなります。

輪転機更新にあたり琉球新報社様では、弊社製4×1型輪転機にご注目され、「カラートップ・エコワイドⅡ」の基本性能はもとより、作業の効率化、省力化、省コスト化のほか、媒体切替に対する機能や、既設機への対応を含めた稼働後のメンテナンスの優位性などにおいても高くご評価頂き、お陰さまをもちまして受注の運びとなりました。

ご導入頂くカラートップ・エコワイドⅡは、高紙面品質と作業性を追求し、省資源・省電力といった環境性能も誇る4×1型輪転機です。最高印刷速度16万部/時、40ページ24個面カラー印刷が可能で、折機を2台備えた機械構成となっており、2媒体同時印刷が可能です。

また、優れたペースター成功率と損紙低減制御によってランニングコスト削減に効果を発揮する“ペースター損紙低減制御システム”や、少人数による印刷準備作業と紙通しでの白損紙削減を可能にする“FWL 損紙低減モード”、印刷準備時間を短縮する“高速FWL”等も搭載しております。

さらに、刷版自動着脱装置（T-PLATER）を装備されており、版掛け作業によるオペレータの負担軽減、印刷準備時間の短縮、作業の効率化に多大な効果を発揮します。

加えて、弊社のリモート支援システムの一つである“リモートメンテナンスシステム”をご導入いただきました。

リモートメンテナンスシステムは、遠隔で輪転機のプログラムをリモート監視することにより、トラブル解決を図ります。輪転機をインターネットでつなぐことによって、トラブル発生時に、遠隔地から現地の今現在の輪転機情報を確認することができますので、トラブルの原因を確認し、的確に対処することで、輪転機のダウンタイムを短縮することができます。

琉球新報社様と東京機械製作所とのお付き合いは、1979年（昭和54年）、他社製の凸版輪転機から弊社製のオフセット輪転機に更新されたのが始まりです。

当時、国内では、4×2型（倍幅倍胴）サイズの大型新聞輪転機のオフセット化が本格的に始まった頃で、九州・沖縄地区において初のカラー輪転機となった、製社製4×2型オフセット輪転機「VBW型超高速度オフセット輪転機」をご導入いただきました。

以来、今日にいたるまで、ご愛顧を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。この度の輪転機更新に於きましても、引き続き弊社の輪転機をご採用いただいたことは、私ども東京機械製作所にとりまして、大変有り難く光栄なことと考えております。

本稼働は2024年8月を予定しております。



ご導入されるカラートップ・エコワイドⅡ オフセット輪転機の同型機